

2017年11月11日

親愛なる世界の人々へ

琉球民族独立総合研究学会 (ACSILs) による「核兵器禁止条約」に関するメッセージ

我々、琉球民族独立総合研究学会(ACSILs)、ならびに、平和を愛し平和を希求する全ての琉球民族は、2017年7月に国連において122カ国の賛同のもとに採決された「核兵器禁止条約」を祝福し、歓迎します。

しかしながら、同時に一方で、日本国やその他の68カ国がこの条約の採決に不参加であったことに対して遺憾の意を表明します。

我々はこの条約の重要性を十分に承知しています。脱植民地化、脱軍事基地化、そして、独立国としての主権の回復を求める我々の琉球独立運動が達成された暁には、新たな独立国家としての琉球、例えば、琉球共和国は間違いなくこの「核兵器禁止条約」に調印し批准するでしょう。

つまり、この意味において、琉球独立運動は同時に核兵器禁止の運動でもあり、未来の「琉球共和国」には、この世界から全ての核兵器を完全に廃絶するというゴールへと向かう総合的な核兵器禁止についてイニシアティブをとるという強い意志があります。

米国国防総省と国家安全保障文書館によると、1967年、沖縄島には1300発の核兵器が配備されていました。例えば、米国ニクソン大統領と日本国佐藤首相により1969年11月21日に結ばれた密約 (“Agreed minute to Joint Communique of United States President Nixon and Japanese Prime Minister Sato issued on November 21, 1969”) などの多くの証拠により、米軍が今もなお沖縄に核兵器を配備し続け、さらに、日本政府がそれを黙認していると、我々は、残念なことに、考えなければなりません。我々はこの状況を見過ごすことはできません。

繰り返しになりますが、我々、琉球民族独立総合研究学会(ACSILs)、ならびに、平和を愛し平和を希求する全ての琉球民族は、「核兵器禁止条約」を祝福し、歓迎します。我々の琉球独立運動は同時に核兵器禁止の運動でもあります。この極めて重要な条約に世界の全ての国々が今すぐに調印し批准することを我々は強く望み、さらには地球上の全ての兵器が廃絶されることを強く望みます。



ACSILs OFFICE  
Voice/Fax: +81-50-3383-2609  
Email: [info@acsils.org](mailto:info@acsils.org)  
Homepage: [www.acsils.org/english](http://www.acsils.org/english)

